
貧酸素情報

鹿児島県水産技術開発センター
 平成29年10月4日(水)

鹿児島湾 貧酸素情報 No.2

[1]10月3日の調査結果

(1) 貧酸素水塊の状況

30m以浅において4.0mg/Lを下回る貧酸素水塊が湾奥の2定点で確認されました。(下図参照)。

(2) 赤潮生物の出現状況

珪藻類は、全域でほとんどない状況でした。

シャットネラ属やヘテロシグマ等の有害種は確認されませんでした。

(3) 海況

表層水温は湾中央部で25.2~25.6℃、湾奥部で24.3~25.4℃で平年並み、塩分は28.7~31.8と平年よりやや低め、透明度は9.5~15.0mで平年より高めとなっております。

水温：平均 25.0℃ 湾奥部 24.9℃ 湾中央部 25.4℃

塩分：平均 30.7 湾奥部 30.3 湾中央部 31.6

透明度：平均 11.4m 湾奥部 10.7m 湾中央部 13.6m

(平年値は平成元~28年の10月上旬の平均値)

[2] 今後の貧酸素水塊の予想

前回調査時(9/20)に引き続き、30m以浅で貧酸素水塊が湾奥の2定点で確認されました。今後、表層水温の降下によって起こる鉛直循環が活発となる10月下旬までは、中層付近で現在のような貧酸素水塊が継続、さらに進行する可能性があるため、注意が必要です。

【鹿児島湾湾奥部貧酸素調査結果(調査日：平成29年10月3日)】

水深	水温	塩分	DO	水温	塩分	DO	水温	塩分	DO		
0m	24.36	28.49	7.60	0m	24.85	30.43	7.95	0m	25.15	31.23	7.37
5m	25.12	31.20	7.52	5m	24.90	30.96	7.63	5m	25.09	31.87	6.31
10m	25.32	32.27	4.88	10m	25.06	32.41	4.43	10m	25.14	32.17	5.39
15m	24.87	32.50	4.37	15m	24.66	32.59	4.23	15m	25.10	32.31	5.00
20m	24.53	32.65	4.22	20m	24.12	32.74	3.90	20m	24.82	32.59	4.55
25m	24.10	32.82	4.15	25m	23.96	32.87	4.29	25m	24.47	32.74	4.34
30m	23.65	32.93	4.06	30m	23.34	32.92	3.83	30m	24.32	32.89	4.44

水深	水温	塩分	DO	水温	塩分	DO	水温	塩分	DO		
0m	24.99	30.85	7.84	0m	24.92	30.79	7.22	0m	25.11	31.62	6.54
5m	24.96	31.11	7.52	5m	25.35	32.01	5.86	5m	25.13	31.80	6.32
10m	25.19	31.75	6.35	10m	25.21	32.41	5.05	10m	25.05	32.01	5.95
15m	25.02	32.44	4.41	15m	24.78	32.68	4.73	15m	24.98	32.51	4.53
20m	24.72	32.68	4.67	20m	24.43	32.84	4.69	20m	24.72	32.65	4.38
25m	24.47	32.82	4.63	25m	24.23	32.94	4.66	25m	24.32	32.74	4.27
30m	24.64	33.34	5.19	30m	23.78	32.92	4.30	30m	24.85	32.80	3.84

水深	水温	塩分	DO	水温	塩分	DO	水温	塩分	DO		
0m	24.95	30.91	7.47	0m	24.92	30.79	7.22	0m	25.11	31.62	6.54
5m	25.21	31.59	6.90	5m	25.35	32.01	5.86	5m	25.13	31.80	6.32
10m	25.24	32.02	5.97	10m	25.21	32.41	5.05	10m	25.05	32.01	5.95
15m	24.74	32.61	4.56	15m	24.78	32.68	4.73	15m	24.98	32.51	4.53
20m	24.25	32.73	4.10	20m	24.43	32.84	4.69	20m	24.72	32.65	4.38
25m	24.29	32.91	4.36	25m	24.23	32.94	4.66	25m	24.32	32.74	4.27
30m	23.53	32.98	4.30	30m	23.78	32.92	4.30	30m	24.85	32.80	3.84

水深	水温	塩分	DO	水温	塩分	DO	水温	塩分	DO		
0m	25.43	28.71	7.54	0m	24.92	30.79	7.22	0m	25.11	31.62	6.54
5m	25.22	31.48	7.65	5m	25.35	32.01	5.86	5m	25.13	31.80	6.32
10m	25.18	31.42	7.66	10m	25.21	32.41	5.05	10m	25.05	32.01	5.95
15m	24.98	32.46	4.41	15m	24.78	32.68	4.73	15m	24.98	32.51	4.53
20m	24.95	32.60	4.63	20m	24.43	32.84	4.69	20m	24.72	32.65	4.38
25m	25.11	33.01	5.17	25m	24.23	32.94	4.66	25m	24.32	32.74	4.27
30m	24.77	33.22	5.20	30m	23.78	32.92	4.30	30m	24.85	32.80	3.84

(注意事項)

- 給餌の際、魚群が遊泳すると、貧酸素層の海水が表層まで浮き上がるおそれがあります。
- 過去、溶存酸素が4.0mg/Lを下回った状況での給餌で、へい死事故が発生した事例がありますので、注意が必要です。
- 給餌の前には、必ず溶存酸素量を確認し、餌食いの状況を見て、無理な給餌を避けた方がよいでしょう。

赤潮情報(携帯電話)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(パソコン)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>



・30m以浅において4.0mg/Lを下回る貧酸素水塊が湾奥の2定点で確認されました。
 ・給餌の前には溶存酸素を確認し、餌食いの状況を見て、無理な給餌を避けるようにしてください。

[単位 水温：℃, DO：mg/L] 鹿児島県水産技術開発センター